

第51回 稲城市スポーツ大会 小学生の部 競技実施要項

1. 参加資格

2023年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チーム

2. 競技規則

以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会2022/23年度『サッカー競技規則』及び『JFA8人制サッカー規則』に準ずる。

試合会場は総合G・長峰VF・南多摩G・南多摩覆蓋G(低学年のみ開催&スパイク禁止)

退場者については次の試合1試合のみを出場停止とする。

3. 基本の試合時間(熱中症対策などにより変更の場合有り)

1年生：予選L・決勝T10分ハーフ(幼児の部は4チーム以上参加で開催7分ハーフ)

2年生：予選L・決勝T12分ハーフ

3年生：予選L・決勝T15分ハーフ

4年生：予選L・決勝T15分ハーフ

5年生：予選L及び決勝T1回戦は15分ハーフ、決勝T2回戦以降20分ハーフ

6年生：予選L及び決勝T1回戦は15分ハーフ、決勝T2回戦以降20分ハーフ

*いずれの試合もインターバル(前半終了後～後半開始の合図の間)は5分とする。

4. 試合

①別途定める学年ごとの組み合わせ表に基づき、リーグ戦やトーナメント戦により優勝以下を決定する。

②1年生は5人又は6人制(最小数チームに合わせる)、2年生から6年生は8人制とする。

③試合開始時に7名(1年生は5名)が出場している状態で試合の成立とする。試合中けがなどにより7名(1年生は5名)未満となった場合でもその試合は続行する。

④試合が不成立の場合は人数不足のチームの敗戦とし、リーグ戦では「0対5」とする。

⑤リーグ戦の順位については、以下にて決定する。

勝ち点の扱い 勝：3、引分：1、負：0、不成立敗戦：-1

順位の優先順位：①勝ち点 ②得失点差 ③総得点 ④直接対決の結果 ⑤トス

⑥トーナメントにおいて同点の場合は3人ずつのPK戦で決定する。以降サドンデス。

5. グラウンドのサイズ

別途定める「学年ごとのグラウンドサイズ」による。

6. 会場ルールと運営(各チームに割り当てられます)

(1) 会場運営のチームは学年ごとの組み合わせ表に記載されたチームが担当する。

(2) 南多摩Gや南多摩覆蓋Gでの選手・父兄の集合は第一試合開始1時間前以降とする。総合Gではグラウンド作りのスタッフは8:30から入場可能で、選手と父兄は8:45から入場可能。長峰VFでは駐車場は8:00開錠、グラウンドは8:30から入場が可能となる。

(3) 当日試合のあるチームのスタッフは、南多摩Gや南多摩覆蓋Gでは第1試合開始90分前（長峰VFと総合Gは朝8:30）に集合し、全チームでグラウンドの準備を行う。

午前午後でチームが分かれる場合は、午前のチームでグラウンドの準備を行い、午後のチームで後片付けを行う。

(4) 会場運営チームの役割（各日2チーム割当てるのでチーム同士相談の上で分担可）

① 運営担当はグラウンド作りのスタッフと同じ時間に集合する。

例として南多摩スポーツ広場では第1試合の90分前にゲートを開錠するので同時刻に集合で、総合Gと長峰VFでも基本第1試合開始の90分前だが、両会場は8時半が開場時間なので、集合時間も8時半以降となる。

② 当日の試合進行表をA3に拡大し、本部近辺に掲示する。

③ 空気圧計、空気入れ、WBGT計、審判・本部要員用に飲料水を用意する。

④ 南多摩G・南多摩覆蓋Gにおいては（別途指示がある場合を除いて）

A駐車場より先へは本部・運営（1台）以外の車を入場させない。

⑤ 総合Gにおいては

試合の行われる週の木曜日までに体育館受付へグラウンドのライン引きを依頼する。

選手と父兄など観戦者は8:45以前には入場しないよう周知徹底する。

⑥ 試合進行表に試合結果・審判チームを記載し、少年部長に報告する。

⑦ 試合終了後全チームの退出後グラウンド状況を確認し、場合によっては施錠する。

⑧ 石灰の残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。（南多摩Gの倉庫内）

また使用済み石灰袋は運営担当チームが持って帰り処分する。

⑨ 南多摩Gでは最後の2試合のチームスタッフは、選手達にスパイクにより掘れた箇所に砂を入れる修復作業をスタッフ自ら手本を見せて指導する。

7. 出場チームの構成

別途定める「チーム登録条件」を参照。

8. ベンチ入り

① 選手の人数制限は設けない。ベンチ入りスタッフは2名以上5名以下とする。

2名のうち1名が、前の試合や次の試合の審判対応の間、ベンチスタッフが1名のみになることは認める。

② 試合会場と管理区域を設けるので、応援の父母とは明確に分離する。感染症対策など入場制限のある場合は別途指示する。

③ テクニカルエリアを設置しないため、スタッフが立って指示する場合はベンチから立ったその場所から移動してはならない。選手への指示は起立または着席にかかわらず、その都度1名のベンチスタッフのみが指示することが出来る。

④ 選手へのネガティブな発言、相手チームや審判へのクレームは認められない。応援の保護者からの選手への指示・罵声などは、そのチームの指導者が対象者に注意喚起を行う。

9. 交代

FPは交代ゾーンからの「自由な交代」とするが、GKは競技規則通りの手順で行う。
飲水時やクーリングブレイク及びハーフタイム時の交代は主審の管理のもと行うこと。

10. ボール

ボールは4号公認球とし、2年生以下は「0.6気圧」、3～6年生は「0.8気圧」に調整したものを当該チームが持ち寄る。

11. ユニフォーム

- ①FP・GKともに正副(袖の有るシャツとショーツにソックス)を用意し、それぞれが容易に識別できるものであること。色については黒のショーツやソックスを認める。
- ②GKは最初からFPと同じショーツやソックスを着用しても良い。
- ③アンダーシャツ・アンダーショーツ(タイツ)の色は問わないがチームで統一する事。
- ④外部装着のソックステープなどの色はソックスと異色も可で、チーム内統一も不要。
- ⑤GKが予期せぬ事態でFP選手と交代する場合、その場に適応したユニフォームが無い場合は他選手との色別や安全性を備えた背番号無しのシャツの着用を認めるが、原則ビブスは認められない。GKユニフォーム持参せず最初からビブス着用は不可とする。

12. 駐車場 駐車台数については概ね以下のルールを目安とする。

- (1) 総合Gでは競技場正面の駐車場(北駐車場)には各チーム1台のみとし、他は体育館側駐車場(西駐車場)に、体育館利用者に気遣いチーム4台程を目安に駐車可能。有料
- (2) 長峰VFではフットサル場利用者に気遣いチーム5台程を目安に駐車可能。有料
- (3) 南多摩スポーツ広場で、南多摩Gと南多摩覆盖Gの両方を利用している場合は来場チーム数を基に各チーム1台～3台の数字を組合せ表に指定する。どちらか一方の会場利用の場合もやはり来場チーム数を基に各チーム4台～5台と組合せ表に指定する。南多摩スポーツ広場内に駐車する場合、少年部指定の『台数No入り駐車証』を、車両前面の目立つ部分に掲示し、駐車場係はそれを確認する。無料
- (4) 上記指定台数において、当日の運営担当チームは『指定数+1台』の駐車が可能

13. その他

- (1) 本要項に定めない不測の事態が生じた際には、大会本部、少年部に必ず報告し相談すること。またその際には関係者一同、誠意をもって協議し、円満に解決を図ること。
- (2) 本大会で撮影した静止画または動画を、連盟・チーム・個人等の批判を目的としたり、個人の肖像権を侵害する可能性がある SNS 等への投稿は固く禁じます。
- (3) 感染症など行政から指示があった場合は、それに合わせた対策を別途配布するので、本要項より感染症対策を優先とする。
- (4) 雷や熱中症など、より生命の危険度が高い事象への対応を最優先とする。
- (5) 気温や湿度が高い日は熱中症対策のためにチームは WBGT 計と氷を必ず持参する。

以上